



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月14日

上場会社名 株式会社やまびこ 上場取引所 東  
 コード番号 6250 URL http://www.yamabiko-corp.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 永尾 慶昭  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 瀬古 達夫 TEL 0428-32-6111  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	55,209	4.3	3,974	32.0	4,298	25.2	2,969	17.4
26年3月期第2四半期	52,925	9.2	3,010	75.4	3,433	157.1	2,528	331.9

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 2,922百万円 (△29.5%) 26年3月期第2四半期 4,148百万円 (700.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	287.45	—
26年3月期第2四半期	245.39	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	90,027	38,827	42.9	3,739.54
26年3月期	82,842	35,148	42.2	3,383.12

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 38,632百万円 26年3月期 34,952百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	110.00	110.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	110.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,000	1.1	5,500	9.6	5,800	1.5	4,400	△5.5	425.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	11,027,107株	26年3月期	11,027,107株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	696,206株	26年3月期	695,641株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	10,331,123株	26年3月期2Q	10,304,672株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査の手続の対象外ではありますが、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表の監査手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となることがあります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国は雇用情勢が引き続き改善したことなどで消費の回復や生産が増加し、欧州もウクライナ問題を抱えるロシア経済の悪化などがありましたが、全体として緩やかな回復基調となりました。国内経済は、消費税増税前の駆け込み需要の反動から緩やかな改善が見られましたが、天候不順や物価上昇などにより個人消費の低下が見られるなど先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く市場環境は、国内農業機械市場は消費税増税前の駆け込み需要の反動や米価が低迷したことなどによりトラクタやコンバインなど大型機械を中心に低迷しました。国内建設機械市場は社会インフラ老朽化対策や復興需要が引き続き堅調に推移しました。海外小型屋外作業機械市場は最大市場の北米が天候不順から販売が弱含みとなりましたが、欧州は特に景気回復基調が続く西欧地域が堅調でした。

また、為替相場は、対ドル・対ユーロとも前年同四半期に比べ円安基調で推移しました。

このような環境の下、当社グループはより強固な経営基盤構築に向けスタートさせた3ヶ年計画「中期経営計画2017」に基づき、小型屋外作業機械の主力市場である米国における販路拡大や欧州を中心とする積極的なマーケティング活動を展開したことに加え、生産効率向上のためのシリンダー加工の自動化ライン導入や開発力強化のための試験・研究施設の新設に向けた準備などの諸施策に取り組みました。

以上のような事業活動を展開した結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループ連結業績は次のとおりとなりました。

## [売上高]

当第2四半期連結累計期間の売上高は、552億9百万円(対前年同四半期比4.3%増)となりました。その内訳は、国内売上高が210億86百万円(同1.2%減)、米州の売上高は281億51百万円(同7.0%増)、米州以外の海外売上高は59億71百万円(同13.1%増)となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

## ① 小型屋外作業・農業用管理機械

売上高は、404億47百万円(同3.8%増)となりました。

## ・小型屋外作業機械

国内は、プロ向けチェンソーが引き続き堅調に推移したことに加え、パワーブロワの新モデルが伸長したことなどにより期初には消費税増税前の駆け込み需要の反動減はありましたが前年同期比で微増となりました。米州は、主力の北米で春先の低温などの影響により刈払機が低迷しましたが、大型のチェンソーが好調に推移したことなどにより増収となりました。また、米州以外の海外も西欧諸国の販売が好調に推移したことに加え、円安の進行により増収となりました。

その結果、売上高は314億19百万円(同9.4%増)となりました。

## ・農業用管理機械

国内は、消費税増税前の駆け込み需要の反動の影響から大型防除機を中心に減少しました。海外は、米国での異常気象による穀物作付け時期の遅れや穀物価格の低迷などにより収穫機が低調でした。

その結果、売上高は90億28百万円(同11.7%減)となりました。

## ② 一般産業用機械

国内は、建設市場が好調に推移する中、非常用電源需要が一巡した発電機は依然低調でしたが、溶接機、投光機、切断機などが揃って伸長したことなどにより増収となりました。海外は、米国市場でディーゼル発電機の販売を再開した効果が現れたことなどにより増収となりました。

その結果、売上高は51億33百万円(同5.0%増)となりました。

## ③ その他(アクセサリ、アフターサービス用部品、他)

国内は、2サイクルオイルなどの拡販策を実施したことにより堅調に推移しました。海外は、販売数量が減少しましたが、為替の影響により増収となりました。

その結果、売上高は96億28百万円(同5.9%増)となりました。

## [損益]

営業利益は販売費及び一般管理費の増加などがあったものの、円安による利益率改善や未実現利益の減少などにより39億74百万円(同32.0%増)となりました。経常利益は為替差益の発生により42億98百万円(同25.2%増)となり、四半期純利益は29億69百万円(同17.4%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて71億84百万円増加し、900億27百万円となりました。

これは、原材料及び貯蔵品の減少8億57百万円があったものの、現金及び預金の増加10億59百万円、受取手形及び売掛金の増加39億円、商品及び製品の増加16億29百万円、退職給付に係る資産の増加14億13百万円等によるものであります。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて35億5百万円増加し、512億円となりました。

これは、電子記録債務を含めた支払手形及び買掛金の増加19億95百万円、賞与引当金の増加6億13百万円、借入金の増加19億20百万円等によるものであります。

③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて36億78百万円増加し、388億27百万円となりました。

これは、為替換算調整勘定の減少5億82百万円があったものの、利益剰余金の増加37億28百万円、退職給付に係る調整累計額の増加4億1百万円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.7ポイント増加し、42.9%となりました。

④ キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業活動によるキャッシュ・フローが20億88百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが19億72百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが9億37百万円の収入となりました。その結果、当第2四半期連結会計期間末の資金残高は54億49百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業キャッシュ・フローは、売上債権の増加41億58百万円、たな卸資産の増加16億16百万円などがあったものの、税金等調整前四半期純利益42億65百万円、減価償却費15億55百万円、仕入債務の増加24億83百万円などにより、20億88百万円の収入(前年同四半期は36億49百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の売却による収入34百万円があったものの、有形及び無形固定資産の取得による支出17億97百万円などにより、19億72百万円の支出(前年同四半期は18億13百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出16億84百万円、配当金の支払額11億36百万円があったものの、長期借入れによる収入19億46百万円、短期借入金の増加額18億57百万円などにより9億37百万円の収入(前年同四半期は5億82百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの主力製品である小型屋外作業機械および農業用管理機械の需要は、北半球における春から初夏までに偏っております。そのため、第2四半期連結累計期間に比べて第3四半期および第4四半期の半年間は売上高および利益の水準が低くなると見込まれます。

加えて、当社グループの売上の半分以上が米ドルを中心とする外貨によるものであるため、為替相場の動向によっては、業績に大きく影響がおよぶ可能性があります。

今後の見通しにつきましては、米国の景気回復が継続するものと見込まれますが、為替の変動やロシア経済の減速に伴う欧州経済への影響が懸念されるなど当社グループを取り巻く経営環境の先行は不透明な状況が続くものと予想されます。

通期の連結業績予想につきましては、売上高は前回発表(平成26年8月8日)予想どおり推移する見込みですが、損益面は、第2四半期連結累計期間での業績の進捗状況などを考慮し、営業利益、経常利益および当期純利益を下表のとおり修正しております。

なお、今後の為替レートは、1USドル=105円、1ユーロ=140円と想定しております。

(前回、1USドル=100円、1ユーロ=140円)

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	105,000	5,800	5,600	4,200	406.53
今回発表予想(B)	105,000	5,500	5,800	4,400	425.90
増減額(B-A)	—	△300	200	200	—
増減率(%)	—	△5.2	3.6	4.8	—
(ご参考)前年同期実績 (平成26年3月期)	103,848	5,020	5,715	4,656	451.78

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債権の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が1,370百万円減少し、退職給付に係る資産が1,063百万円増加し、利益剰余金が1,894百万円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ27百万円減少しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,390	5,449
受取手形及び売掛金	16,207	20,107
商品及び製品	23,366	24,995
仕掛品	1,521	1,656
原材料及び貯蔵品	7,884	7,026
その他	3,686	3,331
貸倒引当金	△185	△179
流動資産合計	56,870	62,387
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,300	7,201
土地	8,182	8,162
その他(純額)	6,656	6,730
有形固定資産合計	22,140	22,094
無形固定資産	969	922
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	—	1,413
その他	3,354	3,679
貸倒引当金	△490	△471
投資その他の資産合計	2,863	4,621
固定資産合計	25,972	27,639
資産合計	82,842	90,027
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,637	9,795
電子記録債務	9,060	9,897
短期借入金	10,536	12,244
1年内返済予定の長期借入金	1,121	2,469
未払法人税等	462	489
賞与引当金	—	613
製品保証引当金	853	765
その他	3,810	3,871
流動負債合計	34,482	40,146
固定負債		
長期借入金	9,291	8,156
退職給付に係る負債	1,370	—
環境対策引当金	39	35
製品保証引当金	135	184
その他	2,374	2,677
固定負債合計	13,211	11,053
負債合計	47,694	51,200

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,000	6,000
資本剰余金	9,619	9,619
利益剰余金	20,012	23,740
自己株式	△716	△719
株主資本合計	34,915	38,641
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	635	770
為替換算調整勘定	398	△184
退職給付に係る調整累計額	△996	△594
その他の包括利益累計額合計	36	△8
少数株主持分	195	194
純資産合計	35,148	38,827
負債純資産合計	82,842	90,027



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	52,925	55,209
売上原価	38,519	38,654
売上総利益	14,405	16,555
販売費及び一般管理費	11,395	12,580
営業利益	3,010	3,974
営業外収益		
受取利息	6	15
受取配当金	22	27
為替差益	432	339
その他	128	90
営業外収益合計	590	472
営業外費用		
支払利息	132	128
その他	34	20
営業外費用合計	167	148
経常利益	3,433	4,298
特別利益		
固定資産売却益	4	8
特別利益合計	4	8
特別損失		
固定資産除売却損	28	41
減損損失	7	—
特別損失合計	35	41
税金等調整前四半期純利益	3,402	4,265
法人税、住民税及び事業税	988	1,204
法人税等調整額	△133	85
法人税等合計	855	1,290
少数株主損益調整前四半期純利益	2,547	2,975
少数株主利益	19	6
四半期純利益	2,528	2,969

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,547	2,975
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	171	134
為替換算調整勘定	1,429	△589
退職給付に係る調整額	—	401
その他の包括利益合計	1,600	△53
四半期包括利益	4,148	2,922
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,109	2,924
少数株主に係る四半期包括利益	38	△1

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,402	4,265
減価償却費	1,342	1,555
減損損失	7	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△322	—
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	—	△276
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△38	△18
受取利息及び受取配当金	△29	△42
支払利息	132	128
賞与引当金の増減額(△は減少)	462	613
売上債権の増減額(△は増加)	△1,918	△4,158
たな卸資産の増減額(△は増加)	3,200	△1,616
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,423	2,483
未収消費税等の増減額(△は増加)	395	63
その他	△550	97
小計	4,659	3,096
利息及び配当金の受取額	29	41
利息の支払額	△139	△123
法人税等の支払額	△899	△925
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,649	2,088
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,757	△1,797
有形及び無形固定資産の売却による収入	9	34
その他	△66	△209
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,813	△1,972
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△620	1,857
長期借入れによる収入	1,886	1,946
長期借入金の返済による支出	△1,168	△1,684
配当金の支払額	△618	△1,136
その他	△61	△45
財務活動によるキャッシュ・フロー	△582	937
現金及び現金同等物に係る換算差額	97	5
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,350	1,059
現金及び現金同等物の期首残高	4,907	4,390
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,258	5,449

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小型屋外作業・ 農業用管理機械	一般産業用機械	計			
売上高						
外部顧客への 売上高	38,948	4,888	43,837	9,088	—	52,925
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	25,594	3,566	29,160	2,980	△32,141	—
計	64,542	8,455	72,997	12,068	△32,141	52,925
セグメント利益	1,340	2	1,343	3,792	△2,125	3,010

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にアクセサリーおよびアフターサービス用部品の販売に係わる事業を含んでおります。

2. 当第2四半期連結累計期間におけるセグメント利益の調整額△2,125百万円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要な減損損失又はのれん等はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	小型屋外作業・ 農業用管理機械	一般産業用機械	計			
売上高						
外部顧客への 売上高	40,447	5,133	45,580	9,628	—	55,209
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	26,072	3,811	29,883	3,057	△32,941	—
計	66,519	8,944	75,464	12,686	△32,941	55,209
セグメント利益 又は損失(△)	2,540	△140	2,399	4,057	△2,483	3,974

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にアクセサリーおよびアフターサービス用部品の販売に係わる事業を含んでおります。

2. 当第2四半期連結累計期間におけるセグメント利益又は損失(△)の調整額△2,483百万円は、報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要な減損損失又はのれん等はありません。